

「児童育成クラブ」・・・県下でのクラスター発生に高まる不安 新型コロナウイルス感染から子どもたちを守るため、緊急の対応を！

日本共産党市議団・熊本地区委員会で教育長へ、「新型コロナウイルス、児童育成クラブの対応改善を求める緊急申し入れ」



新型コロナウイルス感染症が急拡大、変異種の感染割合が圧倒的多数を占め、子どもへの感染が拡大しています。県下の児童育成クラブでのクラスター発生を受け、児童育成クラブの感染防止への対応改善を求め、5月10日に教育長へ緊急申し入れを行い、懇談しました。

【申し入れ事項】

- (1)三密を避けた保育環境へ、児童の施設専有面積基準(子ども一人あたり1.65㎡以上)を新型コロナウイルス禍は緩和し、ゆとりのあるスペースでの保育を実施すること。そのため、学校の教室活用等をより一層すすめること。
- (2)保育スペース拡充と丁寧な対応のため、指導員の配置拡充を行うこと。
- (3)指導員確保と質の高い保育実施のため、指導員処遇改善を図ること。
- (4)児童育成クラブ指導員へ公費による定期的なPCR検査を実施すること。
- (5)現場指導員の意見を聞き、実態に合った効果的な方法での感染防止対策を拡充すること。(アクリル板設置、指導員への不織布マスク配布など)
- (6)児童育成クラブの「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定し、その内容を指導員・保護者に徹底すること。
- (7)新型コロナウイルスの長期化で、困窮家庭が増えており、今年10月から予定している児童育成クラブ利用者負担金引上げは中止すること。

三密を避けた環境へ、スペースと指導員体制拡充を

厚生労働省も、新型コロナウイルスの感染が広がる中、「児童の密集を回避できる実施場所の確保に努めること」を求めてきました。

今回の申し入れに対し、教育長も「密集回避は検討したい」と述べました。そのための指導員確保も重要かつ急務です。

10月からの 利用料値上げは中止を！

コロナ禍に困窮を極める市民の暮らしの実態を見るならば、今年10月からの利用料値上げは中止すべきです。

月 4,300円⇒5,000円、
夏休み:9,500円、延長+1,200円

【控室から】
「母の日」

上野 みえこ



5月9日は、「母の日」でした。同居する息子夫婦や、遠くに離れて暮らす子どもたちから、それぞれに思いのこもったプレゼントが届きました。

加えて、我が家では、子どもたちからおばあちゃんにもプレゼントが来ます。忙しい私に代わって、長年日々家事に勤しみ、子どもたちのお世話に余念がなかった義母は、子どもたちにとって「母親」だったのでしょうか。そんなおばあちゃんに感謝の気持ちを忘れない子どもたちを、大変うれしく思います。

子育て真っ最中の時は、ただただあわただしい毎日の連続で、その日を終えるので精一杯でしたが、今になってみると、子どもを育てて教えられたことの多かったことに気づかされます。

4人の子どもたちは、みな社会人となって自立しました。「母の日」に子どもたちから届けられる「ありがとう」のメッセージを見ながら、「いえいえ、こちらこそあなたたちに育ててもらって、感謝の気持ちでいっぱいです」と心の中でつぶやいています。

「母の日」とは、共に育ちあってきた子どもたちへ感謝する日ではないかと思えます。

ありがとう、私の子どもたち。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか

NO. 1233

2021年5月16日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索



国の財源措置も活用し、新型コロナ減免の継続を！

「熊本市国保をよくする会」で市長へ「国保料の引き下げとコロナ特例減免制度継続の要望書」を提出、党市議団も同席

4月28日、「熊本市国保をよくする会」で、市長への「国保料の引き下げとコロナ特例減免制度についての要望書」を提出し、健康福祉局長ほか担当部局と懇談しました。



【要望事項】

1. 政令市で一番高い保険料を引き下げること
2. 2020年度に実施したコロナ特例減免を2021年度も引き続き実施すること
また、収入減は、2020年収入との対比でなく、コロナ禍前の2019年との対比で減免ができるよう、制度を改善すること
3. 新型コロナによる傷病手当金は、事業主も対象として支給できるようにすること
4. 新型コロナ減免は、申請型ではなく、手続き不要（前年所得で減免）の減免制度に改善すること

「国の財源措置」+「減らした一般会計繰入を戻し」減免を

4月に国が示した国の財源措置は減免分全額ではありません。(2020年度は全額措置)

熊本市の場合、昨年度実績で想定すると4割の措置で、市の必要額は約2.5億円です。

大西市長になって、国保への一般会計繰入は大幅減額されています。これを元に戻せば、財源は十分に確保できます。

前市長の時:毎年20億円以上



現在(2021年度):4.2億円

政令市で一番高い保険料、コロナ減免実施は必須

熊本市の国民健康保険料は政令市で一番高く、コロナ禍の市民の困窮した暮らしの実態を見れば、新型コロナ減免の継続実施は必須です。

県境越えの移動による新型コロナ感染拡大防止策 無料のPCR検査キットを配布

6月末までの金・土・日・祝日、熊本駅・サクラマチで

【期間】4月29日から6月末までの毎週「金曜・土曜・日曜・祝日」

*午前9時から、午後6時まで（受付には約20分かかります）

【場所】①熊本駅白川口（駅入り口に向かって右側）

②サクラマチ2階（熊本城ホール入り口前）

【対象】(1)越県移動した18歳以上の方等、(2)発熱・咽頭痛等の症状がない方

(3)スマホにアプリを登録できる方（アプリ対応、メルアド必要）

(4)結果が「陽性疑い」の場合、保健所・医療機関で再検査できる方

【検査方法】唾液によるPCR検査（キットを受け取った後、自分で採取して郵

送。後日アプリを通じて本人へ結果通知）

*結果が「陽性疑い」の場合のみ、保健所へも連絡。

党市議団で、実施状況を視察しました。(サクラマチ)日曜日の午後でしたが、混雑した状況はありませんでした。熊本駅の方が少し多いとのこと。

制度実施の周知や、検査から結果通知まで4～5日かかる点などの改善は、今後の課題です。

